別紙

和歌山県の脱炭素の出前授業について

対象学年：小学校高学年

実施時期：学校と要相談（総合に組み込み、もしくは理科や社会の内容と関連付け可能）

内容：地球温暖化の内容から脱炭素やカーボンニュートラルへの理解を深めます。

学習のポイント（参考資料１，２もご覧ください。）

- 二酸化炭素の出るときはどんな時か知る。
- 二酸化炭素の出す量を減らすために私たちができることは何か知る。
  →植物が二酸化炭素を吸収する内容まで触れる。
- 「脱炭素」「カーボンニュートラル」の考え方に触れる。

実績：2024 年２月 19 日（月）和歌山市立中之島小学校６年生

2024 年２月 29 日（木）岩出市立中央小学校６年生

2024 年３月５・８日（火・金）岩出市立山崎北小学校５年生

問い合わせ先：和歌山県脱炭素政策課

電話 073-441-2674 までご連絡ください。

その他：主に動画とパワーポイントを使用して座学中心で行います。

学校様にはモニター（と可能であればインターネット接続可能な PC）のご用意をお願いしております。授業終了後、環境省作成の「今日からできる！地球温暖化対策」のプリントを県のオリジナルファイルに入れて差し上げています。

＜参考＞

温暖化防止 今できることは

中之島小 県職員が初の脱炭素授業

和歌山

脱炭素を学ぶ授業が19日、和歌山市の市立中之島小学校であった。脱炭素社会実現に力を入れる県が初めて行った取り組みで、子どもの頃から脱炭素の意義を理解し、自分たちの問題として考えてもらおうと授業を企画。今後は他の小中学校でも実施していくという。

この日は6年1、2組の児童約40人に対して、県環境生活総務課の職員が「地球温暖化を防ぐために私たちができること」と題して講義を行った。画面にイラストや図、動画などを示し、地球温暖化や温室効果ガスなどの意味について説明。温暖化が時には特産のミカンやウメの品質や生育に影響が出ることに触れたり、「二酸化炭素が出るのはどんな時」など挙手で参加できるクイズを出したりした。

その後、児童からは脱炭素への取り組みとして「ペットボトルではなく水筒にする」「植物を植えたらいい」などの意見が出された。参加した関本来輝さんは「これからは自分も温暖化対策をしたい。まずは電気の無駄遣いをやめることから始める」と話していた。【加藤敦久】

県職員が講師となって行われた脱炭素授業＝和歌山市の市立中之島小学校で

毎日新聞（2024 年２月 23 日）より抜粋

中央小授業の様子（2024 年２月 29 日）
挙手で児童の意見を確認します。

山崎北小授業の様子（2024 年３月５日）
きいちゃんも一緒に学びます。

お問い合わせ
和歌山県　脱炭素政策課
TEL：073-441-2674